

▼有田コンピュータの目的▼

有田コンピュータは「IT事業を通じ地域に貢献する事」

「顧客のパソコンによる業務改善を追求し、互いに利益を創り出し発展していく事」を目的として活動しています。

フォントの特徴を知ろう

フォントとは文字の「形」のことです。パソコンには明朝体やゴシック体や楷書体など、いろいろなフォントが入っています。これらのフォントを組み合わせることで、さまざまな表現ができます。

「Word(ワード)」や「Excel(エクセル)」などのソフトを使って企画書や提案書などを作成している方も多いと思います。フォントの使い方によって資料もより良いものになるでしょう。



2大フォントの基礎知識

和文フォントの2本柱といえば、「明朝体」と「ゴシック体」です。ほとんどのパソコンには、このゴシック体と明朝体が標準で備わっています。

明朝体

明朝体は、縦と横の線の太さが違うため、どちらかという繊細でやわらかい印象を与えます。また、長時間見ても疲れにくいので、印刷して手元でじっくり読むことの多いワープロソフトの文書、新聞や雑誌の縦書き文字で多く使われています。

ゴシック体

ゴシック体は、縦と横の太さが同じため、力強い印象を与えます。書類のタイトルや見出し、強調したい部分ではゴシック体を使うのが基本です。プレゼンテーションのように遠くから見る場面では、ゴシック体を使います。明朝体では、遠くから見たときに、一部の線が薄くて読みづらいからです。

フォント選びと使い方

年賀状ソフト(筆まめ)などをインストールするとたくさんのフォントが使えるようになります。どれも使ってみたくなる魅力的なフォントです。その数ある書体の中からどれを選ぶかが書類作成のポイントとなってきます。

くせのあるフォントはワンポイントとして

くせのある書体は長文になると読みづらいので、タイトルなどアクセントとなる所に絞って使いましょう。

ポップ体 クラフト墨 隷書体 風雲体
まるもじ体 勳亭流 行書体 毛筆体

書類の内容に合わせた書体をイメージし、吟味して選びましょう。

見出し(タイトル)には太い書体、本文には細い書体を使いましょう。

一つの企画書の中に、何種類もの書体を折り混ぜてしまうと、ごちゃごちゃとした印象を与えてしまいかねません。

複数の書体を用いる場合は、まとまりを出すために、ゴシック系ならゴシック系、明朝系なら明朝系で統一しましょう。

編集者より： 同じ内容の書類でも書体を変えることで印象が変わってきます。伝えたい内容によって書体を変えてみてはいかがでしょうか。